



棚田の中にハスの気品

雲南・山王寺 大輪と稲穂が「競演」

「日本の棚田百選」に選ばれている山王寺棚田（雲南市大東町山王寺）で古代ハスが大輪の花を咲かせてい

る。黄金色の稲穂と薄桃色の花の「競演」が楽しめる。棚田を守る活動に取り組むNPO里山笑楽校（多久

和厚代表）が、増える休耕地を生物の生息場にしようとしており、2019年に古代ハスを植えた。

ハスは、約700平方メートルのビオトープで7月下旬から咲き始めた。直径約20センチの大輪の花が、訪れた人たちを和ませている。

多久和代表（69）は「棚田の風景の中にあるハスを見て癒やされてほしい」と話している。花は週明けまで楽しめる。（狩野樹理）